

第139号
令和6年6月

からだ おんぎ

毎月
10日頃
発行

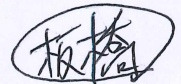
今月のテーマは
「もはやこれは...
ミステリー！」です。



ある日の朝ドアを開けると良いにおい。ローパンが3個家の前に置いてあった。
食するのはこのままでおくと夕方失くなっていった。
次の週にも同様の事があった。3回目は起きなかった。
あれは何だったのだろう。



空手の稽古に80才近くの方も参加されている。止めルールにもかかわらず、けこうな割合で当ててくる。本人曰く「風圧だろう。」との事。
真面目なのかとぼけているのか判断できない。



大きな睡蓮鉢を買って砂利や赤玉を底に敷き、水草や流木も入れてビオトープを始めた頃、ある時睡蓮鉢の中を見ると、入れたはずの亀の一匹のメダカが気持ち良さそうに泳いでいた。一体どこから来たのか？ 吾川

汗だく現場作業で、なかなか落ちない体重が、1月から始めた休日のゴルフ練習場通いで、5キロ落ちた！



=佐の=

旦那さんの寝言。「ハクゲキホウ。南恵比寿...」

私... (´ω´) えっ、何があるの??



ダンス・引き出し・トイレのドア... 私が使った後は、なぜかいつも数センチ開いている...

ちほ"

毎年6月(=課が全く分らない)来る税金明細書

- 62

Noctiluca, 毎年6月~7月頃、音に驚き発光する。幻想的に青白く光った海面が波打つ。初めて見た時は、超Mystery!!
Nakashima

もう半年が過ぎる

竹生

10年間 一度も当たらなかった宝くじ...

いつもハズレかヒリですね...



- マン -

いつの日か (白) はか (角) し (成) じゅう 瓜 切 y 大鳥

それは2019年夏頃のミステリーでした。

毎朝通勤時電車内で見かけた禿3人組のオジサン達です。

普通先頭車両に3人仲良く腰掛けていました。

皆3人とも口を大きく開いて眠っており、鼻孔からは鼻毛が“ポー”、

3人とも上顎の歯が殆どありません。

スーツ・ネクタイはよれよれ、黄ばんだ白ワイシャツも3人一緒でした。

早朝からあたかも忘年会帰り酔っ払い集団ではないかと思われる程の様相じゃないですか。

ウィークデイの07:10頃朝日を浴びて眠るその姿は、既に“抜け殻”です。

また仲の良さはそれだけではありません、3人揃って口開けて眠る首の角度も一緒です。

丁度2019年はラグビーのワールドカップも日本で開催された年でもあり、

私は彼等を“ワンチーム”と名付け暫く観察していましたが、

ほぼ毎日ほぼ同じ時間、また同じ車両、同じ席、同じ鼻毛。

その仲の“良さは?”は、特筆すべきものがありました。

しかし、そのオジサン達の会話を一度も聞いた事がありません。

その後コロナのパンデミックもあり、また私も時差出勤、早出出勤等で07:10頃の電車には殆ど乗っていません。

あれから一度もそのオジサン達を見かけた事はありません。

今頃どうしているのでしょうか。 数カ月の短い期間に私を楽しませてくれて、疾風如く見えなくなったオジサン達。

仲間割れしていないだろうか? 死んでないだろうか?

どんな仕事をしているのだろうか? 夜勤なんだろうか?

どこから乗って、どこで降りたのだろうか…。 謎は深まるばかり。

中島